

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

## 横浜国立大学に富士通-横浜国大リサーチ・ラボを開設

横浜国立大学は2022年11月1日、富士通-横浜国大 台風リサーチ・ラボ共同研究講座(注1)を新たに開設しました。(通称：富士通-横浜国大リサーチ・ラボ)

新リサーチ・ラボは、横浜国大の研究力と富士通の技術力の統合による台風メカニズムの解明を目的とし、モデルドリブンであるHPC(注2)(シミュレーション)とデータドリブンであるAIを融合させることにより、未知であった台風発生メカニズムの解明や台風予測シミュレーションの高速化および高精度化の研究を推進します。また学内に常駐する富士通の研究者と学生、研究者との交流を通じ次世代の優れた研究人材の育成や新たなコンピュータ研究の進展にも貢献して参ります。

(注1)本ラボは富士通が推進する「富士通スモールリサーチラボ」の取り組みの一環として設置するものです。富士通スモールリサーチラボとは、富士通の研究者が大学内に常駐又は長期的に滞在し、共同研究の加速、新規テーマの発掘、人材育成および大学との中長期的な関係構築を目指す取り組みです。

(注2)High Performance Computing

地球温暖化の進行等により激甚化しつつある台風脅威に対し、国民の生命・財産の安全・安心をいかに守るかは台風大国日本にとって重要な社会課題となっています。横浜国立大学は「台風を脅威から恵に変える社会の実現」を目指し、学内に「富士通-横浜国大 台風リサーチ・ラボ共同研究講座」を開設し、HPCとAIを融合させ未知の領域である台風メカニズムの解明や台風予測シミュレーションの高速化、高精度化研究を推進します。

### 【共同研究テーマ】

- ・台風発生予測へのAI(データサイエンス)の活用：台風発生予測に説明可能なAIを適用することで、情報科学の観点から台風の発生環境の知見を抽出する。
- ・台風シミュレーションにおけるHPC技術適用およびAIモデルの精緻化：要求速度・精度に応じて適切な計算機環境・技術および計算モデルで実行可能とすることで、台風シミュレーションの高速・高精度化を目指す。

横浜国立大学は、2021年10月に全国で唯一の台風専門の研究機関「台風科学技術研究センター(TRC)」を設立しており、第一線の台風研究者・実務家が集うTRCへ富士通の研究者が参加することで世界水準の共同研究を推進しつつ、学生、研究者との交流を通じた次世代の研究人材の育成へも取り組んで参ります。



2022年9月21日 関係者記念撮影(前列中央 梅原学長、右から4人目 富士通 マハジャン執行役員 SEVP CTO)

**FUJITSU**

富士通株式会社

富士通-横浜国大 台風リサーチ・ラボ共同研究講座  
(富士通-横浜国大リサーチ・ラボ)

本件に関するお問い合わせ先

横浜国立大学 先端科学高等研究院 藤井、小清水

TEL045-339-4454 FAX045-339-4280 E-mail:ias@ynu.ac.jp